

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	長野医療衛生専門学校
設置者名	学校法人成田会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療職業実践専門課程	歯科衛生士学科	夜・通信	1,800 時間	240 時間	
医療職業実践専門課程	言語聴覚士学科	夜・通信	675 時間	320 時間	
医療職業実践専門課程	音楽療法士学科	夜・通信	570 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ <a href="https://nagano-iryousei.ac.jp/medical/disclose">https://nagano-iryousei.ac.jp/medical/disclose</a> 情報公開 「歯科衛生士学科」「言語聴覚士学科」「音楽療法士学科」
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長野医療衛生専門学校
設置者名	学校法人成田会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ <a href="https://nagano-iryoueisei.ac.jp/medical/disclose">https://nagano-iryoueisei.ac.jp/medical/disclose</a> 情報公開 「役員名簿」
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2019.2.20 ～ 2023.2.19	法令遵守に関する チェック機能
非常勤	歯科医師	2019.2.20 ～ 2023.2.19	学校運営に関する 医療専門家としての チェック機能
非常勤	会長社長	2019.2.20 ～ 2023.2.19	法人経営に関する チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野医療衛生専門学校
設置者名	学校法人成田会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)	
○シラバスの作成過程(プロセス)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学科、養成所規程に則り授業計画を作成する。            歯科衛生士学科は、歯科衛生士学校養成所指定規程に則る。            言語聴覚士学科は、言語聴覚士学校養成所指定規程に則る。            音楽療法士学科は、日本音楽療法学会が定める「カリキュラムに関するガイドライン1-1」に則る。</li> <li>・教育課程編成委員会で、授業計画を確認。            規程に合わせて、年度の授業計画に反映させる。</li> <li>・教育課程編成委員会の合意を経て、学科長が全教員に、シラバス作成を依頼</li> <li>・全教員が各学科にシラバスを提出。</li> <li>・学科でシラバスを点検して、記載事項に不備のあるシラバスの再提出を学科長が依頼。</li> <li>・該当教員が学科に、シラバスを再提出。</li> <li>・教育課程編成委員会が、シラバスを再点検。               <ul style="list-style-type: none"> <li>○シラバス作成時期 10月下旬から2月末日まで</li> <li>○シラバス公表時期 4月1日</li> </ul> </li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://nagano-iryousei.ac.jp/medical/disclose">https://nagano-iryousei.ac.jp/medical/disclose</a> 「歯科衛生士学科」、「言語聴覚士学科」、「音楽療法士学科」
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

成績の評価及び履修認定に関する規程は次のとおり。

長野医療衛生専門学校 学則・第4章・第23条に授業科目履修の認定について記載

(授業科目履修の認定)

第23条 授業科目の履修に関しては、授業時間数の3分の2以上出席し、試験に合格した者に、所定の単位を与える。ただし平素の学習状況又は論文等をもって試験に代えることができる。

- 2 試験の成績の評価は、秀、優、良、可又は不可とし、秀、優、良及び可を合格とする。
- 3 前項の秀は90点、優は80点、良は70点、可は60点割を基準とし、総合的な評価を行なう。

以上のように、学則に記載されており、各学年の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与及び履修認定を実施している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPA等の客観的な指標の具体的な内容

1 成績評価の適切な取組の概要

本校の成績評価に関しては、担当教員(評価者)が、授業ごとにシラバスにて評価基準をあらかじめ明示して客観的な成績評価に努めている。学生には学生要覧を配布して周知し、HP上でも公開している。

成績評価については、「秀(90点)、優(80点)、良(70点)、可(60点)、不可」の5段階で評価し、可以上で合格となる。また、GP(Grade Point)としては、「秀は4.0、優は3.0、良は2.0、可は1.0、不可は0.0」とする。

GPA 算出式

$$GPA = \frac{\text{(履修科目の単位数} \times \text{ポイント) の合計}}{\text{履修した講義の総単位数}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法

在校生の方へ

<https://nagano-iryousei.ac.jp/medical/student>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>○卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要          本校では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位数を取得した学生は卒業が認定される。</p> <p>I ディプロマポリシー（卒業認定・称号授与の方針）          本学が定める単位を修得し卒業が認められ、歯科衛生・言語聴覚・音楽療法の基盤となる優れた専門性をもち、臨床現場で創造的に実践する確かな技術力や、思いやりの心をもつ豊かな人間性を備えたと認められる者に、専門士及び高度専門士の称号を授与します。          （卒業時に取得できる資格）          卒業に必要な単位を修得することで、下記の国家試験・学会試験の受験資格が得られます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科衛生士国家試験受験資格</li> <li>・ 言語聴覚士国家試験受験資格</li> <li>・ 日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）資格試験受験資格</li> </ul> <p>II カリキュラムポリシー（教育課程編成とその運用の方針）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本学は、医療・福祉に携わる者として、優れた専門性と豊かな人間性を兼ね備えた学生を育成することを教育理念とし、学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目や臨床実習を開設し、体系的な教育課程を編成します。</li> <li>② 本学が設置する学科は、それぞれの専門分野に関する高度な知識及び技術を教授・研究し、歯科医院や病院、医療関係施設等の実習施設と連携した教育課程の編成を行うことにより、医療人として受容的な態度をもち、適切な技術と患者様ひとりひとりのニーズを理解し支援できる優れた専門士及び高度専門士を育成します。</li> </ol> <p>III アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）          本学は、優れた専門性と豊かな人間性を兼ね備えた学生を育成することを教育目標としており、次のような素養を備えた学生を求めています。          （求める学生像）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療・福祉分野に関する専門的な知識や技術を修得するために、自発的・意欲的に学び、専門職としての役割を果たそうとする明確な目的意識をもっている者</li> <li>② 積極的に社会に関わり、様々な立場の人に対して個性を尊重し、興味・関心を持って温かく接することのできる高い倫理観を持っている者</li> <li>③ 日々、進歩する医療・福祉分野に適用していくために、自ら進んで課題を探求し、柔軟な思考力と判断力で解決しようとするチャレンジ精神をもっている者</li> </ol> <p style="text-align: center;">卒業の認定に関する方針や学生の修得単位を踏まえ、卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>学則  <a href="https://nagano-iryousei.ac.jp/medical/disclose">https://nagano-iryousei.ac.jp/medical/disclose</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	長野医療衛生専門学校
設置者名	学校法人成田会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	貸借対照表 <a href="https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose">https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose</a>
収支計算書又は損益計算書	資金収支計算書 <a href="https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose">https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose</a>
財産目録	固定資産明細表 <a href="https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose">https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose</a>
事業報告書	事業報告書 <a href="https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose">https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose</a>
監事による監査報告（書）	監査報告書 <a href="https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose">https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療職業実践 専門課程	歯科衛生士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,120 /時間	1,920 時間	0時間	1,200 時間	0時間	0時間
	158単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
84人		73人	0人	4人	30人	34人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 歯科衛生士学校養成所指定規則に則り、授業計画を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 秀90点、優80点、良70点、可60点、不可60点未満を基準とし、総合的な評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 試験の成績、実習の評価、出欠席状況等について評価し総合的に判断する。
学修支援等
（概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院（歯科）、診療所（歯科）			
(就職指導内容) 歯科・医療業界に対する知見を深めるセミナーの開催			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科衛生士（国家資格）の取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	3人	5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談・三者面談の実施、学生支援委員会の開催		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療職業実践 専門課程	言語聴覚士学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,130 /時間	2,790 時間	660 時間	680 時間	0時間	0時間
		132単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		67人	0人	5人	18人	23人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 言語聴覚士学校養成所指定規則に則り、授業計画を作成している。
成績評価の基準・方法

(概要) 秀 90 点、優 80 点、良 70 点、可 60 点、不可 60 点未満を基準とし、総合的な評価を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 試験の成績、実習の評価、出欠席状況等について評価し総合的に判断する。
学修支援等
(概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	0 人 ( 0%)	7 人 (70%)	3 人 (30%)
(主な就職、業界等) 医療機関			
(就職指導内容) 職場見学・斡旋・就職説明会開催、求人開示、相談面接			
(主な学修成果（資格・検定等）) 言語聴覚士（国家資格）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69 人	7 人	10.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療職業実践 専門課程	音楽療法士学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3,180 /時間	1,330 時間	90 時間	220 時間	0 時間	1,540 時間
		128 単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
45 人	28 人	0 人	3 人	10 人	13 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 日本音楽療法士学会が定める「カリキュラムに関するガイドライン1-1」に則り、授業計画を作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 秀 90 点、優 80 点、良 70 点、可 60 点、不可 60 点未満を基準とし、総合的な評価を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 試験の成績、実習の評価、出欠席状況等について評価し総合的に判断する。
学修支援等
（概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100%)	0 人 ( 0%)	1 人 (100%)	0 人 ( 0%)
（主な就職、業界等） 特別支援学校			
（就職指導内容） キャリア・デザインの授業の中で就活設計、履歴書の書き方、試験・面接対策指導等を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 音楽療法士（日本音楽療法学会認定資格）、介護職員初任者研修の取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	1 人	5.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別面談・三者面談の実施、学生支援委員会の開催		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生士学科	200,000 円	450,000 円	200,000 円	実習費・施設設備費
言語聴覚士学科	200,000 円	750,000 円	400,000 円	実習費・施設設備費
音楽療法士学科	200,000 円	600,000 円	350,000 円	実習費・施設設備費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose">https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose</a> 自己点検報告書		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>「主な評価項目」 文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、教育理念・目標、学校運営、教育目標、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集、財務、法令等の厳守、社会貢献、地域貢献について評価を受ける。</p> <p>「評価委員の構成」 本委員会の委員は次に掲げる各号の者をもって組織する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 歯科衛生士有識者 1名</li> <li>(2) 言語聴覚士有識者 1名</li> <li>(3) 音楽療法士有識者 1名</li> <li>(4) 商工会議所 1名</li> <li>(5) 地域高等学校長 1名</li> <li>(6) 地域大学 1名</li> <li>(7) 地域自治会長 1名</li> <li>(8) その他学校長が必要と認めた者</li> </ul> <p>本委員会には長野医療衛生専門学校 教職員 (学校長・各学科長・事務局職員等) も参加する。</p> <p>「評価結果の活用方法」 本委員会で協議された内容は教員会等で報告し、教育活動と学校運営の改善・工夫に努める。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
歯科衛生士有識者	2020. 4. 1～2023. 3. 31	専門分野に関する関係者

言語聴覚士有識者	2021. 4. 1～2023. 3. 31	専門分野に関する関係者
音楽療法士有識者	2021. 4. 1～2023. 3. 31	専門分野に関する関係者
商工会議所	2021. 4. 1～2023. 3. 31	地域経済界代表
地元高等学校校	2021. 4. 1～2023. 3. 31	地域高校代表
地元大学	2021. 4. 1～2023. 3. 31	地域大学代表
地元自治会	2021. 4. 1～2023. 3. 31	地元住民代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己点検報告書 <a href="https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose">https://nagano-iryouseisei.ac.jp/medical/disclose</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校法人成田会 長野医療衛生専門学校 <a href="https://www.nagano-iryouseisei.ac.jp">https://www.nagano-iryouseisei.ac.jp</a>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H120320300043
学校名	長野医療衛生専門学校
設置者名	学校法人成田会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	16人
内 訳	第Ⅰ区分	-	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				16人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。